

## 平成27年度第2回鎌ヶ谷市図書館協議会会議録

1 開催日時 平成27年11月25日(水)午後2時～午後3時50分

2 開催場所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室

3 出席者

- (1) 委員 鶴岡政彦委員長 浜口貞美委員 伊藤眞由美委員  
渡辺みどり委員 滝本はる恵委員 小茂田茂委員  
樋口美佐子委員 五十嵐恵委員 高津みどり委員
- (2) 事務局 高橋図書館長 米井主査 小林
- (3) 傍聴人 なし

4 議題

図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービスについて

5 報告

平成27年度先進館視察(日比谷図書文化館)の結果報告

6 審議内容

委員長 まず、会議の議事録署名委員は、名簿順に渡辺委員と滝本委員にお願いする。それでは、議題の「図書館利用者アンケートの調査結果と図書館サービス」について、事務局より説明をお願いしたい。

事務局 ……配布資料に基づき説明……

委員長 ただ今の説明に関して、ご質問があればお願いしたい。

委員 このアンケートは、図書館の運営の中でどのように活かされているのか。

事務局 アンケートで頂いたご意見に対しては、優先順位をつけて取り組んでいるところであるが、すぐに結果に結びついていない状況にある。こうした中で、設備の修繕等に関するご意見については、出来る範囲で取り組んでいる。なお、アンケートに関するこうした取り組みの現状について、公表はしていないところである。

委員長 ご質問、ご意見どちらでもよろしいのでお願いしたい。例えば、ご意見の中にあつた新たな駐車場の確保に関しては、いかがか。

事務局 現在、中央公民館、図書館、郷土資料館の3つの施設で供用する新たな駐車場を整備しているところである。なお、図書館の敷地内での増設は、困難な状況にある。

委員長 ほかにご意見があればお願いしたい。

委員 私もアンケートへの協力を求められたが、回収方法が手渡しなので遠慮してしまい忌憚のない意見までは書けなかった。ついては、回収箱に投函するなどの方法に改善してもらえると書きやすいと思う。また、アンケートの調査結果については、公表するような機会があればと思う。

事務局 アンケートの回収箱の設置及びアンケート調査結果の公表については、実施する方向で検討したい。

委員 「分館においておはなし会を行ってほしい」とのご意見がいくつかあったが、図書館職員だけで行うのは困難と思われる。そこで、アドバンス研修を重ねてきた図書ボランティアの方々に対し、分館でおはなし会を始めたいが一緒にやっていただけないかとの具体的な呼びかけを考えていってはどうか。小さな子供をベビーカーに乗せて移動できる生活圏の中での各分館のおはなし会の実現は、とても大事なことだと思うので、ピンポイントで具体策を練っても良い時期に来ていると思われる。

委員 アンケートにおいて「繋がった椅子は、混んでいると気まずい」「椅子で寝ている人がいる」とのご意見があったが、こうした問題については、これまでの協議会でも話が出ていたと思う。椅子の配置的なものに関して、これまで何か工夫されているところはあるのか。

事務局 椅子が不足しているとの認識のもと、置けるところがあれば置きたいと考えている。しかし、可能と思われるスペースには窓や暖房器具があり、さらに車椅子の移動スペースの確保などの課題もあって困難な状況である。

委員 昭和62年に建てられた本市の図書館は、構造的な問題等もあり、担当者として解決策を考えていくと矛盾が出てくる。まずは、問題点を抽出して皆で共有していくことが必要であると思う。

委員 図書館で居眠りをするのがマナー違反とするならば、張り紙で注意喚起をしてはどうか。

委員 個々のマナー違反に目を向けるのではなく、図書館としての質を上げていく事を考える方が建設的だと思う。図書館は滞在型になってきており、本を読むだけではない機能、地域の中で集まる場所、人が出会う場所、そうした形に図書館がどんどん変わってきている。

- 委員 こうした取り組みのためには、2階の資料室や児童室にある学習室の活用を考えて行ってはどうか。
- 委員 5年先、10年先を見据えて、今の建物ではこうしたところに不備があり、これからの図書館の充実にとってこうあってほしいというところからまとめていかないと先につながらない。また、いろいろな図書館を視察したが、書庫がどれだけ充実しているかが図書館の生命線でもあると思う。
- 事務局 数々のご提案を頂いたので、今後、何が出来るか検討して実現に向けて努力していきたい。
- 委員 アンケートには入っていなかったが、障がいのある方の利用についてはどのようになっているのか。我孫子図書館では、視覚に障がいのある方が来館したときに対応できる臨時職員の配置などいろいろなところで工夫している。
- 事務局 図書館1階に点字に関するものを置いているが、鎌ヶ谷市はまだまだの状況なので、少しずつ整備を進めている段階である。
- 委員 図書館敷地内の植え込み手前のスペースに椅子やテーブルを設置してテラス的なスペースを確保してはどうか。
- 事務局 喫煙所や地下埋設物もあり、検討が必要である。
- 委員長 議題については、以上としたい。それでは、報告案件の平成27年度先進館視察（日比谷図書文化館）に関して報告をお願いしたい。
- 委員 平成27年10月9日に、委員7名と事務局3名で千代田区立日比谷図書文化館を視察した。この施設は、東京都から千代田区に移管された日比谷図書館を全面改装し、平成23年11月4日にオープンした。建物は、日比谷公園の豊かな緑の中に、地上4階、地下1階の三角形のユニークな佇まいとなっていた。機能面では、図書館機能、アカデミー機能、ミュージアム機能、文化活動・交流機能の「4つの機能」が相互に連携する複合文化施設として運営がなされていた。運営面では、5つの企業で構成された日比谷ルネサンスグループが指定管理者として、千代田区から4億円の維持管理費と運営における売上1億円の総額5億円をもってサービスの提供を行っていた。入館者数は、平成26年度において約5万人、個人貸出数は約16万冊とのことであった。また、千代田区は、神保町の古書店や出版社などの地場産業との共存を図っていきたいとのことであった。以上が視察概要であるが、4つの機能が一体となった複合文化施設である同館を視察した感想としては、郷土資料館や市民会館に隣接する環境の中に位置する鎌ヶ谷市立図書館でも、こうした各施設の機能連携を高めることで図書

館事業のさらなる活性化が図られていくのではないかと思った。

委員長 　ただ今の報告について、補足の説明やご意見、ご質問があればお願いしたい。

委員 　日比谷図書館の指定管理者は、建物管理の会社と図書館運営の会社からなる5社で構成されていたが、お互い図書館で何が必要か高いレベルで議論をしながら運営がなされており、こうした指定管理者の体制であれば公共性も守られていくだろうと思う。

委員 　公共図書館の目的はなんだろう、このことに尽きると思う。開館時間やサービス増、集客数等の問題では指定管理者を導入して成果がみられる。指定管理者も利益を上げなければならないという問題があるが、あまりにそちらに偏ると公立図書館の機能が損なわれると思う。本来の公立図書館の使命である文化の伝承、知的財産等をきちっと検証し保存するという役割を見失わないように両方のバランスを考えていかなければいけない。

委員長 　それでは、「その他」ということでお願いしたい。

委員 　コンシェルジュやレファレンスという言葉は、高齢者等に理解されにくいので、きちんと紹介するとともに分かりやすい言葉で表現していったらどうか。

委員 　現在、大型絵本に関して一覧表で確認しているが、展示方法として手に触れられるようにしていただきたい。

事務局 　展示方法や貸出方法について検討したい。

委員長 　本日の図書館協議会は、以上で閉会とする。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため、次に署名する。

平成28年1月20日

署名人 渡辺 みどり 印

署名人 滝本 はる恵 印